

作業療法 第44巻 第2号 (通巻245号) 目次

◆巻頭言

行かれました？ 大阪万博 小澤 恭子 121

◆第58回日本作業療法学会学会長講演

作業療法の効果を最大化する知識・技術・環境を問う 仙石 泰仁 123

◆原著論文

軽度知的障害と発達障害がある若年成人の就労意思決定過程 助川 文子・他 127

日本における作業科学と職業的アイデンティティの関係に関するスコーピングレビュー
. 安田 友紀・他 136

回復期リハビリテーション病棟認知症併存患者の行動・心理症状がFIMに及ぼす影響
—重回帰分析による過去起点コホート研究— 石川 稜馬・他 144

脳卒中後遺症者の家事の遂行をドライブする要因
—テーマティック分析— 石代 敏拓・他 151

急性期脳卒中患者におけるトイレ動作自立に関連する要因の相互作用について
. 小宮山 貴也・他 160

高齢男性を地域活動へ促すための工夫と課題
—東京都大田区の日常生活圏域Aにおいて地域活動を推進する人々を対象にした質的調査—
. 池田 晋平・他 167

リハビリテーション専門職を対象にした3Dプリント技術学習プログラムの有用性
—混合研究法を用いた検討— 近藤 健・他 176

脳出血急性期の意識障害者に対する作業療法実施時間増加の効果に関する傾向スコアマッチングを用いた検討
. 松本 幸樹・他 187

◆実践報告

意味のある作業の共有により孤独感の軽減, 希望感を強めた生活期重度脳卒中者の一症例
—iPadを用いた家族とのコミュニケーション手段の獲得— 白倉 研吾・他 196

脳卒中後Alien hand syndromeを呈した症例に対する身体意識に着目した介入の試み
. 武田 浩祐・他 204

高齢心不全症例に対して家族協働の疾病管理により趣味活動再開に至った1例
—麻雀を経てグランドゴルフの再開に至るまで— 廣瀬 友紀・他 211

過去の楽しさを思い出すことで編み物が習慣化した廃用症候群と視力低下が顕著である高齢者の事例～人間作業モデルスクリーニングツールと余暇活動の楽しさ評価法を使用した介入～
. 坂元 悠太・他 219

糖尿病性壊疽による下肢切断患者に対してTranstheoretical Modelを用いた作業療法の実践
. 松本 翔太・他 227

編集後記

▶最近、地域のフレイル予防や介護予防に関わる中で、「作業療法をご存知ですか？」と尋ねると、多くの方がその存在を知らないという現実と直面します。この認知度の低さは、私たち作業療法士の課題です。しかし、本誌に掲載された地域での実践や研究報告の増加は着実に進展を示しています。「第四次作業療法5ヵ年戦略(2023—2027)」を契機に、地域包括ケアシステムにおける作業療法の重要性をさらに広めていく必要があります。これからも、一人ひとりの生活に寄り添う作業療法の実践を通じて、その効果を広め、社会への浸透を図っていきましょう。本誌がその架け橋となり、皆様の知識と経験を共有し、さらに発展することを願っています。(H・M)

▶職場のFDSO研修会でティーチング・ポートフォリオ・チャート作成ワークショップに参加した。自身の授業実践を振り返り、教育に対する理念を可視化し、今後の課題や目標を設定するためのものである。今回は簡易版で、ペアディスカッションをしながら進めたが、「病院に最初に就職した際に、同僚のOTがPTとの違いが判らないと悩んでいたが、全然違うと思っていたので、全く共感できずにいた」というエピソードを思い出した。振り返ると、そう思っていたのは大学で作業療法の歴史や理論などを学んでいたからであり、大学院のゼミでOTの大先輩に混ざって自由に発言できる雰囲気のディスカッションを経験していたからだということに気が付いた。作業療法教育における自身の理念や方向性が明確になった経験であった。研究に関して、同様のことをしてみても面白いかもしれない。(S・Y)